

2019 年 1 月 10 日

○ 1月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。

- まずはじめに、花角知事、櫻井市長、品田村長への新年のご挨拶についてです

来週 15 日に、知事、市長、村長に新年のご挨拶をさせていただく予定です。社長の小早川、新潟本社代表の橘田、原子力・立地本部長の牧野とともに訪問させていただき、当社に対するご意見などもお伺いできればと考えております。

今後も、首長の皆さまをはじめ、地域の皆さまのご意見に真摯に耳を傾けて発電所運営に取り組み、信頼いただける発電所を目指してまいります。

- 次に、当発電所の許認可手続きや安全対策工事の状況についてです。

当社は、昨年 12 月、原子力規制委員会へ 7 号機の工事計画認可の補正申請を行いました。

工事計画認可申請については、引き続き、詳細な設計が固められた部分から順次補正書を提出できるよう準備を進めてまいります。

現場では、7 号機を中心に耐震強化工事、火災防護対策、内部溢

水対策など様々な安全対策工事を鋭意進めております。耐震強化工事の一環である液状化対策では、既に、取水路周辺やガスタービン発電機の基礎工事などに着手しており、今月中には、非常用ディーゼル発電機の燃料移送系配管ダクトの工事も始めることとしております。今後も、準備が整ったものから順次工事に着手していく予定です。

現場の工事については、安全を最優先に着実に進めてまいります。

- 最後になりますが、昭和 44 年に柏崎市議会ならびに刈羽村議会より発電所の誘致決議をいただいてから本年で 50 年となります。

これまでの間、私どもの発電所をこの地域の一員として受け入れていただきましたことを、厚く御礼申し上げます。皆さまから親しまれ、信頼していただけるように、安全を最優先に発電所の運営に全力で取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 本日、私からは以上です。